

日本産アリ類生態情報 14. 外来種目録.

人為的移入種(Introduced species): 他地域から人為的に運ばれ、野外に定着し、生息が認められるもの(温室等で偶発的に見出されたものを除く. 東京都の *Tetraoponera allaborans* 等定着できなかったものも除く).

T: 放浪種(Tramp species). 人為的移入種の中でも、特に交易の発達等の人為により分布を世界的に拡大し、攪乱地も多く、熱帯・亜熱帯を中心に広域に分布する種(注:ここでの Tramp species の定義はアリに限って適用するもので、生態学的に一般的な定義と異なる: Passera (1994), McGlynn (1999)).

I: 侵略的外来種(Invasive species). 人為的移入種の中で、侵入先で個体群密度を著しく増大させ、広域に拡がり、生態系等に大きく影響を与える種(‘invasive’, ‘alien’, ‘noxious’, ‘exotic’ 等の定義は Colautti & MacIsaac (2004) を参照).

本一覧表は寺山 守・久保田敏・江口克之 (2014)による. 山根(2016)は、アミメアリが外来種である可能性を指摘しており、アミメアリを本表に含めた.

分類群		原産地
ハリアリ亜科 Ponerinae		
オガサワラハリアリ <i>Ponera swezeyi</i>		不明
カドフシニセハリアリ <i>Hypoponera opaciceps</i>	(T)	ブラジル
マルフシニセハリアリ <i>Hypoponera zwaluwenburgi</i>		不明
クロニセハリアリ <i>Hypoponera nubatama</i>		不明
トビニセハリアリ <i>Hypoponera schauislandi</i>	(T)	熱帯アメリカ? ヨーロッパ?
フタフシアリ亜科 Myrmicinae		
ミナミオオズアリ <i>Pheidole fervens</i>	(T)	熱帯アジア
インドオオズアリ <i>Pheidole indica</i>	(T)	不明
ツヤオオズアリ <i>Pheidole megacephala</i>	(T, I)	アフリカ?
ナンヨウテンコクオオズアリ <i>Pheidole parva</i> (s. l.)		東南アジア
トゲハダカアリ <i>Cardiocondyla</i> sp. A		東南アジア?
カドハダカアリ <i>Cardiocondyla</i> sp. B		東南アジア?
キイロハダカアリ <i>Cardiocondyla obscurior</i>		東南アジア
ヒヤケハダカアリ <i>Cardiocondyla kagutsuchi</i>		東南アジア
ヒメハダカアリ <i>Cardiocondyla minutior</i>		東南アジア?
ウスキイロハダカアリ <i>Cardiocondyla wroughtonii</i>	(T)	熱帯アジア&オーストラリア
オオシワアリ <i>Tetramorium bicarinatum</i>	(T)	東南アジア
イカリゲシワアリ <i>Tetramorium lanuginosum</i>	(T)	東南アジア

サザナミシワアリ <i>Tetramorium simillimum</i>	(T)	ヨーロッパ?
ナンヨウシワアリ <i>Tetramorium tonganum</i>		太平洋諸島
クロヒメアリ <i>Monomorium chinense</i>		熱帯アジア
ミゾヒメアリ <i>Monomorium destructor</i>	(T)	アフリカ? 熱帯アジア?
フタイロヒメアリ <i>Monomorium floricola</i>	(T)	インド? 東南アジア?
シワヒメアリ <i>Monomorium latinode</i>	(T)	熱帯アジア
イエヒメアリ <i>Monomorium pharaonis</i>	(T)	アフリカ?
カドヒメアリ <i>Sylophopsis sechellense</i>		アジア?
アカカミアリ <i>Solenopsis geminata</i>	(T, I)	中央-南アメリカ
ヨコヅナアリ <i>Pheidologeton diversus</i>		東南アジア
トカラウロコアリ <i>Strumigenys membranifera</i>	(T)	アフリカ? ヨーロッパ?
ミノウロコアリ <i>Strumigenys godeffroyi</i>		ポリネシア
ヨフシウロコアリ <i>Strumigenys emmae</i>	(T)	アフリカ?
アミメアリ <i>Pristomyrmex punctatus</i>		東南アジア?

カタアリ亜科 Dolichoderinae

ルリアリ <i>Ochetellus glaber</i>		東南アジア
アワテコヌカアリ <i>Tapinoma melanocephalum</i>	(T)	不明
アシジロヒラフシアリ <i>Technomyrmex burnneus</i>	(T)	東南アジア
アルゼンチンアリ <i>Linepithema humile</i>	(T, I)	南アメリカ

ヤマアリ亜科 Formicinae

クロコツブアリ <i>Brachymyrmex patagonicus</i>		南アメリカ
ウスヒメキアリ <i>Plagiolepis alluaudi</i>		アフリカ? インド?
アシナガキアリ <i>Anoplolepis gracilipes</i>	(T, I)	アフリカ? 熱帯アジア?
ケブカアメイロアリ <i>Nylanderia amia</i>		熱帯アジア
ヒゲナガアメイロアリ <i>Paratrechina longicornis</i>	(T, I)	東南アジア?

参考文献

- Colautti, R. I. & H. J. MacIsaac (2004) A neutral terminology to define 'invasive' species. *Diversity and Distribution*, 10: 135-141.
- McGlynn, T. P. (1999) The worldwide transfer of ants: geographical distribution and ecological invasion. *J. Biogeogr.*, 26: 535-548.
- Passera, L. (1994) Characteristics of tramp ants. Williams, D. (ed.), *Exotic ants*, Westview Press, 23-43.

寺山 守・久保田敏・江口克之 (2014) 日本産アリ類図鑑. 朝倉書店, 278 pp.

山根正気 (2016) 奄美群島には何種のアリがいるか. 奄美群島の生物多様性 研究最前線からの報告. 南方新社 : 92-132.

参考

偶産種 : 人為的に海外から移入され, 国内に侵入したが定着は確認されていない種 (寺山他, 2014). 動植物検疫で発見され移入が止められたものは外す.

Tetraoponera allaborans Walker, 1859 府中市

Leptogenys punctiventris (Mayr, 1879) 高槻市

Tetramorium indicum Forel, 1913 宝塚市

出典

寺山 守・久保田敏・江口克之 (2014) 日本産アリ類図鑑. 朝倉書店, 278 pp.